

みんなで築こう 人権の世紀

考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心



亀山東小学校 1年 しみず つむぎ 絢来 さん



関小学校 2年 おちあい あやの 彩乃 さん



井田川小学校 5年 いちかわ りさこ 理咲子 さん



加太小学校 6年 ながの えいた 瑛大 さん



昼生小学校 3年 くさがわ かな 草川 菜奈 さん



野登小学校 5年 なおえ みずき 直江 泉希 さん



中部中学校 3年 たなか しゅん 田中 竣 さん

第18回ヒューマンフェスタin亀山

令和4年12月3日（土）、川崎小学校体育館で「第18回ヒューマンフェスタ in 亀山」を開催しました。今回は、昨今の世界情勢から、「平和」について改めて考える機会となるよう、講演や歌のパフォーマンス、学校での平和学習や市内で活動する団体の取組紹介などを行いました。

テーマ

「平和について考えよう！」

～『過去』『現在』の戦争と向き合い、平和な『未来』を～

内容

ジャーナリストの志葉玲（しば れい）さんを講師に迎え、「ウクライナ現地取材から平和の道を考える」をテーマに講演が行われました。志葉さんは、これまでパレスチナやイラクなどの紛争地での現地取材をはじめ、社会にある人権侵害や貧困・格差などについて幅広く活動してきました。講演では、2022年4月に、戦地となったウクライナで取材を敢行した体験を、現地の映像をもとに語っていただきました。



また、世界を舞台に活躍しているゴスペルシンガー、TAEKO GLORY（タエコ グローリー）さん、REN（レン）さんによるゴスペル公演が行われ、美しく元気が出る歌声が、聞く人を明るく前向きな気持ちにさせてくれました。

他にも、市内活動団体による平和に関する活動報告では、戦時中の列車銃撃事件をはじめ亀山市にも戦争の影響が大きくあったことが話されたり、教職員による取組報告ではこれまで市内小中学校で行われてきた平和学習の実践が報告されました。



平和のために活動する人々や学校・地域などがつながり、子どもをはじめ市民が平和について考えることの大切さを再認識することができました。

来場者アンケートの感想の紹介

- ◇人権・平和について真剣に考えている人が亀山に多くいることがわかりました。
- ◇志葉さんの講演は、ジャーナリストとしての生のお話を写真とともに聞けたので衝撃的でした。
- ◇TAEKO GLORYさんたちの歌はとても明るく、そして力強く、温かい気持ちになりました。
- ◇平和学習の取組について、先生方が子どもたちの平和学習に力を注いでくださっているんだと、ありがたく思いました。

行政出前講座 (かめやま出前トーク) やってます！

「身近な人権問題について考えてみたい！」「『人権』って難しいもの？」など、様々なご要望に応じて講座に出向きます。企業・地域・学校・各種団体などを対象に、人権・男女共同参画に関するテーマをご用意しております。お気軽にお申し込みください。

なお、令和4年度は、下記の通り幼保、小学校、地域等を対象に、計10回実施しました。

団体・イベント名	内容
白川小学校教育懇談会	「人権」ってなあに？親子で考える人権教育
中部中学校区人権フォーラム	「人権」って何？人権の学びとは
教職員組合人権連続講座「ハートフルリング」	「自分事として部落問題を考える」なぜ部落問題学習が必要なの？
亀山中学校区人権フォーラム	誰もがもっている思い込み
亀山西小学校人権学習	「人権」って何？なぜ人権を学ぶの？
井田川幼稚園	絵本読み聞かせ・手遊び歌
加太保育園	絵本読み聞かせ・手遊び歌
中木戸いきいきサロン	「人権」のハナシ・歌
神辺保育園	「気づき 考え 行動する」～身近なことから学び合う関係づくりをめざして～ 「先生の言葉がけ」
加太保育園	男の子も女の子も、みんなでバームクーヘンをつくろう



行政出前講座に関する亀山市HPは上の二次元コードからご覧ください。

人権相談

亀山市では、人権に関する相談窓口として、人権擁護委員による人権相談、女性相談員による女性相談、社会福祉士等による障がい者相談などの内容に応じたものがあります。(日程については、広報かめやま毎月16日号をご覧ください。)皆様からお聞きした秘密は厳守します。なお、それぞれの相談窓口を担当している課・グループでも相談は受け付けていますので、人権に関するお困りごとがございましたら直接窓口にお越しいただくか、お電話にて承ります。

その他、法務省人権擁護局では、電話相談やインターネット人権相談、SOS ミニレター・メール(小中学生用)も行っています。困ったときは、一人で悩まず、ご相談ください。

法務省の各種相談窓口

- ・みんなの人権110番 0570-003-110
- ・子どもの人権110番 0120-007-110
- ・女性の人権ホットライン 0570-070-810
- ・外国人人権相談ダイヤル 0570-090-911
- ・子どもSOS-eメール <https://www.jinken.go.jp/kodomo>



亀山市の各種相談窓口

- ・人権相談
- ・法律相談
- ・働くひとの相談窓口
- ・行政相談
- ・女性相談
- ・子どもの相談 など

亀山市HP各種相談窓ロー覧は、右の二次元コードからご覧ください。



考えてみよう！ちがいのちがい

これらのことは、「あっても良いちがい」でしょうか？それとも「あってはいけない（無い方がよい）ちがい」でしょうか？あるいは「どちらも言えない」でしょうか？

ぜひ、ご家族、ご友人ともお気軽に話し合ってみてください。

- 日本の衆議院議員の男女の割合は、男性およそ90%、女性およそ10%（2022年現在）である。
- 都市部の通勤電車には、女性専用車両が設置されている。
- ある学校のマラソン大会では、男子は10km、女子は5km走る。
- 日本でアパートを借りる時、日本人のAさんは簡単に借りられるが、外国人のBさんはなかなか借りることができない。
- 日本では、異性同士の結婚は法律で認められているが、同性同士の結婚は認められていない。
- 自分の子どもから交際相手を紹介されたが、住んでいる地区によっては親として交際を認められない。
- 高齢者は、運転免許の返納について年齢制限を設けた方がよい。
- Aさんはどこでも旅行に行けるが、車いすに乗っているBさんは一人で電車に乗ることができない。
- 面と向かって人には言えないことが、インターネット上では自由に表現できる。

これらのちがいが、差別心や人権が尊重されていないこと等によるものなのか、認められるべき多様性や個性等によるものなのか、それぞれの目線で考え、話し合ってもらうための資料です。あらゆる差別のない明るい社会を築いていくためには、私たち一人ひとりが毎日の暮らしの中で人権感覚を磨いていく必要があります。ご意見等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

令和4年度「人権」に関する絵画・ポスター募集へのご応募ありがとうございました。



令和4年度も市内小・中学校生からたくさんご応募いただきました。作品は、ヒューマンフェスタや、人権週間（12月4日～10日）中の市役所玄関に設置のデジタルサイネージなどで展示しました。

また、現在、市ホームページからもご応募いただいた全作品をご覧いただけます。次回もたくさんのご応募をお待ちしています。

（亀山市HP人権ポスター掲載ページは右の二次元コードからご覧ください）



亀山市 市民文化部 文化課 人権・ダイバーシティG
〒519-1192 亀山市関町木崎919番地1
Tel 0595-96-1224 FAX 0595-96-2414
E-mail: jinken@city.kameyama.mie.jp

——— 亀山市人権施策基本方針の基本理念 ———

みがこう、人権感覚 広げよう、人権の視点
めざそう、一人ひとりの人権が尊重されるまち